

市民体育センター建設の見直しを求める請願書

紹介議員

山内善男



山田多津子



辻真理子



奥野嘉巳



1. 請願趣旨

2024年に第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会が彦根を主会場で開催されます。しかし、主会場が県立彦根総合運動場と決定したことに伴い、松原町にありました市民体育センターが解体され、新たな市民体育センター建設など、わずか2週間の国体開催に、財政が逼迫している状況のもと100億円もの巨費を投じようとしています。何のための国体なのか、誰のための国体か、多くの疑問や財政状況も将来に大きな負担と禍根を残すことになりかねない懸念を残しつつ、今、どんどん計画が進められています。

今年6月に示された中期財政計画では、財政の収支の見通しが、平成31年度から24億円、29億円と毎年赤字を示しており、5年後には152億円の累積赤字になることも明らかになりました。多くの市民のからも、今後の市政運営に心配の声が寄せられています。

国体開催基準要綱に示されているように「競技施設は既存施設の活用に努め、施設の新設・改修等は最小限にとどめる」とあります。彦根市の財政状況からも、将来に大きな負担と禍根を残すこととなります。

さらに、2020年に開催の東京オリンピックを控えますます建設資材の高騰が予想されます。新市民体育センターの建設に64億円もの巨費を投じる計画は、現在の財政状況からも、このまま建設を進めていくことは無謀と言わざるをえません。

今一度、現在進められている計画を立ちどまり、規模の見直し、コスト削減に関して徹底的に見直しすることを求めるものです。

2. 請願事項

- ・現在進められている体育センターの建設計画を一旦立ちどまり、規模の見直し、コスト削減に関して徹底的に見直しをしてください。

2018年12月6日

請願者

代表 市民体育センターを残す会

彦根市西今町203

多賀重雄



彦根市議会議長 安藤博様

